

平成16年度 地域予算要求事業一覧

(単位：千円)

予算要求部局	事業名	施策番号及び施策名称	事業概要	事業費
農林水産商工部	2005年集客交流戦略に向けた集客資源の発掘と情報発信事業費	233 観光・交流産業の振興	平成14年度に立ち上げた「御在所・湯の山地域ふるさとづくり推進協議会」が主体となった取組みを支援し、御在所・湯の山地域を核とした北勢地域の観光産業の振興を図る。	5,514
農林水産商工部	観光資源ネットワーク化推進事業費	233 観光・交流産業の振興	北勢地域に点在する観光資源を広域的にネットワーク化するとともに、産業観光を活用した取組みを「北伊勢広域観光推進協議会」との協働で実施する。	1,403
農林水産商工部	地域産業政策推進強化事業費	231 自律的産業集積の推進	北勢地域経済振興会議から提案された産業政策を推進するため、全体会議を開催するとともに、地域での研究開発を進めるための分科会を開催します。また、企業へのワンストップサービスを進めるとともに、事業環境整備のための調査を行います。	15,250
農林水産商工部	研究技術開発促進普及事業費	231 自律的産業集積の推進	北勢県民局内にリエゾンコーナーを設置し、管内企業の技術力向上、研究開発を促進します。また産学連携を進めるため地域大学等と企業が連携して行う研究会等の取組みを支援します。	4,508
農林水産商工部	産業による地域づくり事業費	231 自律的産業集積の推進	北勢地域の大手企業リタイア人材などを地域で活用し、ものづくり人材による地域活性化を進めるとともにOB人材をネットワーク化し、自律的に中小企業の指導を行えるよう支援します。	2,138
地域振興部	桑名・員弁生活創造圏環境交流エリア構想推進事業費	531 地域振興プロジェクトの推進	今後の構想の推進のあり方や取組み方向等について、環境交流エリア構想推進委員会の議論を踏まえながら、住民(団体)、企業、行政の明確な役割分担のもと、県としては、地元自治体で策定した「広域環境基本計画」との連携を図りながら、ごみの削減に資する施策への支援を中心に、より現実・具体的な取組みを展開する。併せて、住民(団体)活動の拠点となるべき施設整備の必要性が高まりを見せた場合には、その施設整備のあり方についても検討する。 (1)戦略プロジェクト推進事業費 (2)委員会運営費 (3)構想推進費	7,727
県土整備部	田切川川づくり事業費	421 自然環境の保全・再生と活用	二級河川員弁川の支川にあたる田切川は、一部改修済みではあるが葎が繁茂し瀬や淵が多く見受けられ水質のよい自然を残している河川である。魚類調査の結果、国の天然記念物であるネコギギや絶滅危惧類に指定されているアカザの生息が確認されており、自然と共生する川づくりのあり方について、有識者、地域住民や関係機関等との協働により策定し、今後の河川事業に反映させることを目的とする。また、本河川の流域に東海環状自動車道の計画があり、道路との共存についても検討を行いたい。	1,360
(北勢県民局 計)				37,900
生活部	歴史街道広域ルートウォーキング事業費	131 文化が身近に感じられる環境づくり	文化や歴史遺産を通じた交流による地域づくりを地域内外の住民・NPOと連携して進める	1,916
生活部	安全・安心の通学路の整備システム推進事業費	321 交通安全対策の推進	学校・PTA・企業・行政(警察・教育委員会・市町村・県・国)が一体となって通学路の整備を行う協働システムを構築し、迅速かつ地域の発想を生かした通学路の整備を実施し、子どもの安全意識と地域の安心を確保する。	2,500
健康福祉部	妊産婦メンタルヘルス向上システム構築事業費	332 子育て環境の整備	妊産婦に対し精神疾病のスクリーニングを実施することで早期に治療や支援を行い、健全な母子関係を構築し、児童虐待の予防を図る。 また、研究事業として実施することで今後の子育て支援施策構築に寄与する。	2,433
農林水産商工部	産地まるごと「環境保全」推進事業費	222 戦略的なマーケティングプロジェクトの展開	香良洲梨部会が行うエコファーマー認証の積極的取得、土づくりや化学肥料・化学農薬を減らした栽培への取組をいっそう進めていくために性フェロモン剤導入とフェロモンラップを利用した適期防除による減農薬に産地全体で取り組むことを支援します。	966
農林水産商工部	なしづくり体験推進事業費	222 戦略的なマーケティングプロジェクトの展開	消費者と生産者の相互理解を深め、信頼関係づくりを推進するため、生徒児童及び一般住民を対象に、年間を通じた梨栽培の体験プログラムの実施と、学校給食等地域社会への梨を中心とする地元産物の導入の検討を支援します。また、栽培技術や歴史に関する資料を作成するとともに、消費者の意向を把握するため、アンケートを実施します。	155

平成16年度 地域予算要求事業一覧

(単位：千円)

予算要求部局	事業名	施策番号及び施策名称	事業概要	事業費
地域振興部	三重のまんなか「HOT!」推進事業費	531 地域振興プロジェクトの推進	津地方県民局では、住民の安全・安心のできる生活が確保され、住む人や訪れる人を「ほっと」させる地域、人々の交流が活発で「ホット」な地域づくりを行っている。 本年度は新市の誕生、セントレアのアクセス港の開港で交流が高まってくるので、地域文化のひとつであるまちなか博物館が一堂に会してのまちなか博物館フェスタを開催する。 一方、大地震に対する備えは喫緊の課題であり、県民の防災意識を高めることが必要とされる。 このため、多くの県民が集まるフェスタの場を捉えて防災啓発の展示等を行う。 ・まんなかまちなか博物館フェスタ ・防災啓発 同じ場所で防災グッズの展示、防災クイズ、 地震体験の実施等イベント	5,045
(津県民局 計)				13,015
生活部	生活創造圏づくり交通事故のないまちづくり事業費	321 交通安全対策の推進	住民・行政が協働して交通事故のないまちづくり情報帳「あんなび」を作成し、この情報帳を多くの住民に知ってもらい情報を共有するとともに、交通安全市民活動提案を経て、住民が自らの問題として自らが行う協働プロジェクトの策定に取り組み、さらに多くの住民の参画を得て実践活動の輪を広め、「交通事故のないまちづくり」を進める。	1,750
農林水産商工部	松阪地域里地づくり実践事業費	223 農林水産業を支える生産・経営基盤の充実	松阪市山添町地内の谷地田には環境省が希少動植物に指定しているホトケドジョウ、メダカ、ウキゴケ、ゴマシオホシクサなどが多数確認され、日本古来のすばらしい自然環境が残されている。このため、地域住民と行政が協働で、この地域の恵まれた自然環境を保全し、自然と共生する社会づくり、都市住民と交流できる魅力的で個性ある地域づくりを進める。さらには開発する手法を活用し、都市住民を巻き込んだ地域づくりを進めていく。	3,166
農林水産商工部	丹と神の道ネットワーク推進事業費	532 快適で豊かな農山漁村づくり	伊勢本街道周辺に点在している自然・歴史・文化・伝統・人的な地域資源を開発町村、NPO等が広域的に連携し、一体的に活用することで地域内外との交流を促進し、個性ある地域づくりを行う。	2,175
農林水産商工部	「循環の輪」結びプロジェクト	222 戦略的なマーケティングプロジェクトの展開	今後の地産地消運動を、身近な食や住を通じて地域の環境、エネルギーへも関心を広げ、資源循環型社会実現に向けた活動に発展させていくため、醸成された意識やネットワークを活用し、「地域資源循環の輪」「農山村文化伝承の輪」を結びつけ、生産者と消費者間、県民相互間で資源、信頼、文化の循環の輪構築を支援します。	2,293
地域振興部	生活創造圏づくり 価値創造協働推進事業費	531 地域振興プロジェクトの推進	松阪・紀勢生活創造圏づくりにおいて、生活者の真の生活の質の向上を図るため「企業市民との協働」を強化するとともに圏内の多様な活動主体に対して経営品質向上の取り組みを促すとともに、顧客のニーズを明らかにすることにより、地域の総合力である「地域価値」の創出に資する。また、生活創造圏づくり活動の場としての「あいの広場」を設け、支援を行う。 経営品質向上セミナーの開催及び研究会の運営 県民(受益者)ニーズ及び満足度把握調査 松阪地方県民局「あいの広場」の運営	2,386
(松阪県民局 計)				11,770
地域振興部	「きらり」と輝く伊勢志摩づくり事業費	531 地域振興プロジェクトの推進	伊勢志摩生活創造圏ビジョンの3つのテーマ 安らぎと感動の「きらり環境」づくり 地域活動を支える「きらりすと」づくり 「きらり」が生きるあきないづくり に基づく広域・協働事業の実施により、第二次実施計画の協働目標である「きらりと輝く伊勢志摩みらいづくり」及び「2005年伊勢志摩再生」を実現するため、ビジョンで掘り起こした地域資源を伊勢志摩の再生に生かす取組を総合行政で実施する。 地域資源に磨きをかけ魅力向上を図る住民組織等の育成・支援 健康づくりと食の安全をテーマにしたもてなしの店づくり 地域協働による主要観光ルート沿道の景観づくり 伊勢志摩固有の情報発信と地域資源を見直し活用する機運の醸成 食の安全の取組による地域固有の特産品に対する付加価値づくり	12,141
(南勢志摩県民局 計)				12,141

平成16年度 地域予算要求事業一覧

(単位：千円)

予算要求部局	事業名	施策番号及び施策名称	事業概要	事業費
総合企画局	伊賀・関西戦略事業	512 県境を越えた交流・連携の推進 【国際化、広域交流】	平成14年度に実施した「伊賀・関西戦略書」に基づき、誇りをもって伊賀を知らせ、誇りをもって伊賀を迎えるための事業を継続するとともに、新たに伊賀営業マン(2万人の関西への通勤・通学者)を活用した口コミによる伊賀情報の送り手(伊賀・関西通勤大使事業)を実施することにより、従来の情報発信と併せて、情報発信効果をより確実なものとする。 また、「生誕360年 芭蕉さんがゆく 秘蔵のくに伊賀の蔵びらき」事業の本番年度にあたることから、開催地として、事業の後方支援にあたる情報発信を行う。 1 戦略気運の醸成(もてなしの心向上セミナーの開催) 2 情報戦略の展開 (1) 関西へのニュースリリース (2) 伊賀・関西通勤大使	3,891
生活部	協働研究事業費	521 多様な活動主体の参画による地域社会づくりの推進	市民やNPOなどの団体から協働して行う住み良さ・豊かさが実感できる地域づくりについての提案を募集し、市民やNPOなどの団体と県・市町村職員が企画の段階から情報交換し施策形成していく場としての「協働塾」を設け、役割分担を明確にしつつ、市民の主体性をもった地域づくりを進める。	1,830
農林水産商工部	伊賀甲賀広域連携事業費	233 観光・交流産業の振興	伊賀甲賀両地域に共通する地域資源を、互いに連携して住民参画により、情報発信することでその効果を高めるとともに、重要なターゲットである中部地域への情報発信事業を三重県独自で行う。	5,563
農林水産商工部	伊賀地域ブランド戦略プラン策定事業費	222 戦略的なマーケティングプロジェクトの展開	食の安全・健康志向などを背景とした地産地消への回帰や地域ブランドによる地場産業の活性化の動きを受けて、伊賀地域の活性化を図るため、地産地消と地域ブランドを柱とした戦略プランを策定します。	3,050
地域振興部	木津川流域水環境啓発事業費	533 流域圏づくりの推進	木津川流域の県境や行政・民間の垣根を越えた流域圏づくりの促進と水質・水量・治水・森林の荒廃など、流域の多様な課題解決に向け地域住民の木津川の水環境に対する関心を高めるため、住民の自主的な参加を前提とした啓発活動に取り組む。 ・地域住民の関心を高め、木津川の流域の一体感を高める。 ・地域住民とさまざまな主体が協働で、森林と川と共生する伊賀方式の管理モデルをつくる。 ・学校教育で将来の環境づくりの担い手を育てる。 (1) 教育啓発教材作成 (2) いっせいい環境調 (3) みんなで守り育てる伊賀の森林事業	1,250
(伊賀県民局 計)				15,584
環境部	紀北環境スクール'04	432 環境を守り育てる活動への参加と協働の促進	環境教育・学習において、次世代を担う子どもたちの役割がますます重要となってきたことから、環境学習情報センターと連携して、子どもたちを対象とした環境講座を開催し、子どもたちの環境保全意識の高揚を図る。	1,229
環境部	COC認証取得支援事業費	422 森林・農地・海洋の持つ公益的機能の増進	紀北管内の流通加工を担うCOC認証団体を増加させ、県民のFSCに対する認識を図るため、木材流通・加工業・販売団体のうち新たにCOC認証取得を支援する市町村及び認証取得団体に支援を行う。	1,000
農林水産商工部	東紀州特産養殖マダイ活用事業費補助金	221 安全で安心な農林水産物の安定的な供給	養殖マダイの斬新な利用並びに消費方法を開拓することにより、地域特産物としての定着化を図り、低迷するマダイ養殖業の経営安定化の一助とし、養殖水産物の安定的な供給体制を確立する。 おにぎりコンテスト開催事業 名物開発事業	950
地域振興部	東紀州の海・ダイビング魅力アップ作戦展開事業費	534 過疎・離島・半島地域の振興	東紀州地域を安心して楽しめるダイビングエリアとしてレベルアップさせるために今後の民間主体の取り組みに活かせる基盤となる事業を実施する。 1) 一目でわかる海底マップの作成 2) 気軽に水中体験案内パンフレットの作成 3) 環境保全活動の促進	800
地域振興部	体験の達人育成支援事業費	534 過疎・離島・半島地域の振興	観光客の満足度を高めていくため、自然を生かした体験メニューの先生や熊野古道の語り部のレベルアップに資する活動を行う。 また、先生や語り部の人材不足を補うため新たな人材を確保育成するための教科書づくりや勉強会を開催する。 1) 人材育成メニュー検討会の開催 2) 研修会、講習会の開催 3) ベンチマーキング 4) 「達人の教科書」「語り部の教科書」作成 5) 新たな人材(先生)勉強会	800

平成16年度 地域予算要求事業一覧

(単位：千円)

予算要求部局	事業名	施策番号及び施策名称	事業概要	事業費
地域振興部	熊野古道ゲートウェイ集客交流構築事業費	534 過疎・離島・半島地域の振興	熊野古道世界遺産登録を契機に、古道を核とした地域全体の資源を有効に活用できるシステムを確立し、現在は行政主導である集客交流(観光産業)が速やかに民間主体に移行できる状況を促進するための事業を実施する。 (1)「集客交流」計画策定事業 (2)ネットワーク体制構築事業 (3)尾鷲地域集客交流コーディネート組織試行事業	3,733
地域振興部	熊野古道CS調査事業費	534 過疎・離島・半島地域の振興	熊野古道に来られた方のCS(顧客満足度)を把握し、熊野古道におけるニーズ、課題を明確にすることによって、効果的な対策を行い、来られた方により一層満足していただくことにより集客交流につなげるため、来られた方1,000名を対象にアンケート調査を実施する。	2,999
地域振興部	「尾鷲ヒノキ」で熊野古道関連商品をつくろう!事業費	534 過疎・離島・半島地域の振興	熊野古道周辺に多い「尾鷲ヒノキ」を活用し、尾鷲ヒノキと熊野古道をリンクさせた地域のイメージアップを図り、魅力ある集客交流圏づくり、地域の活性化を図る。 (1)熊野古道関連製品ニーズ調査 (2)熊野古道関連製品の開発	1,000
地域振興部	紀北広域IT計画推進事業費	525 IT(情報通信技術)の利活用によるサービスの高度化	GISを活用した地域ポータルサイトを構築し、行政と民間の様々なサービスをネットワーク上で提供することにより、誰もが、いつでも、どこでも、必要な情報を入手できる環境を整備する。 東紀州の総合的な情報発信媒体として期待される当地域ポータルサイトを通じて、来年度は、熊野古道世界遺産登録を踏まえ、当地域への関心が深まることから、今年度に引き続き、地域のイベントや観光施設等のライブ中継を実施し、イベント等のPR、地域への集客力のアップにつなげていく。	500
(紀北県民局 計)				13,011
健康福祉部	紀南地域における保健・医療・福祉分野の新システム構築事業費	331 健康づくりの推進	県・市町村・関係機関で提供している保健・医療・福祉サービスはそれぞれ独立した計画に基づいており、包括的なサービスを求める住民に対して十分機能していない状況にある。そのため、県・市町村・中核病院・社会福祉協議会・三重大学等の関係機関による委員会等で策定するアクションプログラムに基づき新しいシステムを構築する。 また、新システムの構築活動においてベンチマーキングを実施するとともに、アドバイザーの導入及び住民への周知啓発を実施する。	1,806
農林水産商工部	紀南地域園芸福祉実践支援事業費	534 過疎・離島・半島地域の振興	平成15年度に官民で組織する「紀南園芸福祉推進協議会」を立ち上げ、園芸福祉推進プランの策定作業が進められているところであるが、平成16年度以降は推進プランが示す基本方向に沿って、地域での実践活動に移る必要があるため、人材育成、活動環境整備、プログラムづくり、普及啓発活動を総合的に実施する。	5,000
地域振興部	紀南地域活性化推進事業費	534 過疎・離島・半島地域の振興	地域内の課題への対処や地域資源の活用を検討した「紀南地域の振興策」が策定され、それに対応する具体的な取組を市町村、地域内外の各種団体、地域住民等と協働で創意工夫のもとに新たな地域づくりを推進する。 (1)紀南ツアーデザインセンター活動 (2)紀南地域滞在促進モデル事業 (3)地域活性化活動 (4)プロジェクトグループ運営	7,552
地域振興部	紀南地域熊野古道活用推進事業費	534 過疎・離島・半島地域の振興	1熊野古道が世界遺産に登録されることに伴って必要となる地域での様々な対策を、総合的に対応していく場として「紀南地域世界遺産登録推進協議会」の活動を継続する。 2熊野古道アクションプログラムの基本方向に沿って、紀南地域において喫緊に対応が必要される事業の洗い出しを行い、市町村と協働して行う。	7,975
(紀南県民局 計)				22,333
合 計				125,754